

2025 年度の取組結果について

県では、神奈川県石油コンビナート等防災計画の推進に向けて、2025 年度の取組方針に基づき、以下の内容を実施した。

2025 年度の取組方針

- ◆ 特定事業所の予防対策の促進
- ◆ 応急活動体制の強化に向けた訓練の充実

※ 2024 年度神奈川県石油コンビナート等防災本部幹事会において上記方針を決定

1 特定事業所の予防対策の促進

特定事業所の予防対策を促進するため、次の①～③を実施した。

① 取組状況調査の実施

特定事業所における予防対策の取組状況を把握するため、全ての特定事業所に対しアンケート調査を実施した。※2016 年度から継続

また、更なる予防対策の充実・強化の推進のため、全ての特定事業所を対象に定期的に立入検査を実施することとしたが、2025 年度は 25 の特定事業所に対して実施した（内 9 事業所に対しては関係機関合同立入）。（資料 1－2、参考資料 1－1、参考資料 1－2）

② 予防対策に関する周知及び情報提供

特定事業所等における予防対策の充実・強化の推進に資するよう、取組状況調査の結果や予防対策に関する有益な情報を防災管理者研修会等において周知・情報提供を行った。

また、県民に対する必要な防災意識の普及啓発のため、行政や事業者の予防対策に関する取組状況を分かりやすく取りまとめた資料をホームページに公表する。（資料 1－2）※2026 年 3 月公表予定

③ 国への要望

全国石油コンビナート立地道府県協議会等により、国に対して提案書を提出した。（参考資料 1－3）

2 応急活動体制の強化に向けた訓練の充実

関係機関同士の連携強化及び各関係機関担当職員のコンビナート災害への理解促進を図るため、次の①及び②を実施した。（資料 1－3）

① 情報受伝達訓練

石油コンビナート等特別防災区域での災害発生時に、特定事業所の被害状況を関係機関が迅速に把握・共有する体制を強化するため、FAX による「情報受伝達訓練」を行い、全 75 事業所のうち 72 事業所が計画どおり実施した。（2025 年 8 月 20 日実施済）

② 合同図上訓練

石油コンビナート等特別防災区域における災害発生直後の初動対応の習得・習熟 及び 関係各機関・事業所の連携を強化するため、「合同図上訓練」を実施した。今年度はオープンシナリオに、一部ブラインドシナリオを加えた(横浜市・川崎市同時発災)机上訓練を実施し、関係機関から計 67 人の参加があった。(2025 年 10 月 3 日実施済)